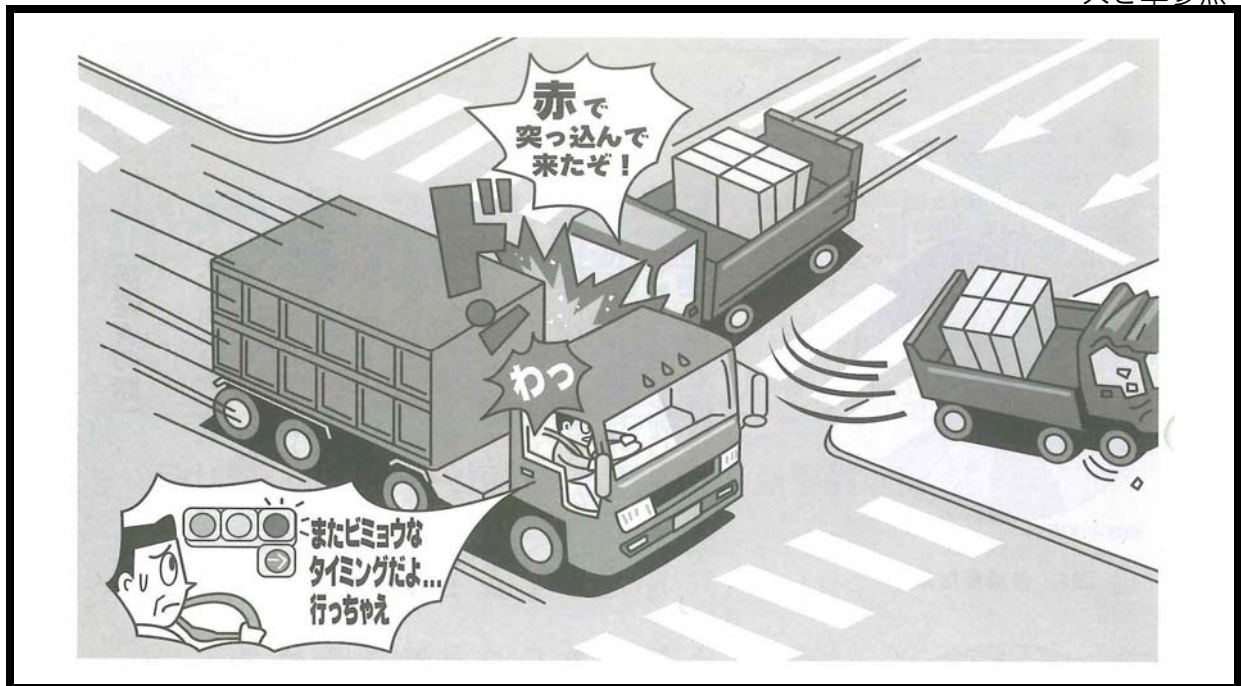


■事故の概況

人と車参照



事故類型：出会い頭

発生日時：深夜

当事者A：大型貨物車 50歳代 男性

当事者B：大型貨物車 60歳代 男性

■ 事故の概要

Aは片側三車線の幹線道路を時速約60kmで走行していました。夜明け前で交通量も少なく周囲には全く車両がいなかったため、前方の信号機が黄色から赤に変わったときも、ブレーキを踏むことなく通過しました。その次の交差点も信号機が黄色から赤に変わった瞬間に進入しましたが、他の車両がいなかったため事故を起こすことなく通過しました。

Aは交差点を通過した際に「他の車両が自分と同じような走り方をしたら事故になるなあ」と考えていました。

そんな時、また前方に大きな交差点と左からくる大型車を発見しました。対面する信号は赤で右折の青矢印が出ていたので、交差側信号は赤で交差車両は当然停止するだろうと考え、特に注意を払うことなく交差点に進入しました。しかし、B車は停止せず交差点に進入してきたので衝突しました。

■ 事故から学ぶ

この事故はAが安全運転を軽視した信号無視が原因です。Aはなるべく停車しないような運転をしていました。停車しなくても大丈夫という気持ちで、漫然運転を誘発し、信号への注意が不足したまま運転していたようです。

AはB車と衝突する前にも信号無視を繰り返していましたが「こんな走り方をしたら事故はおこるだろうな」と思って走行していたようです。なるべく停車したくない、早く目的地に到着したい、という気持ちがあったようですが、事故を起こしてしまえば元も子もありません。